

- ・コラム(杉浦 良)
- ・お知らせ(柳澤監督映画上映会、16年活躍印刷機世代交代、鮎喰川クリーンアップ、太陽光パネル交換)
- ・ご協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

193号/2021

Since 1984

「その人なりの足で立つ実践」

杉浦 良

「ところで、明日は買い出しするから・・・生活棟は？」

「・・・パンは2つ3つあったかなあ？牛乳は・・・まだようけあった気がするし・・・」

「それではよくわからん・・・何をいくつ買ったらいい？」

メンバーとそんな会話を、毎週帰りの車の中でやっています。月の宮生活棟は、徳島でグループホームが一つもない頃からスタートしました。

入所施設か家か病院か、といった選択肢のなかに、全国でグループホームという名前がポチポチ知られ始めたのが1970年以降。「子育てがひと段落した農家のおばちゃんが、知的障害のメンバー4人の朝晩の食事の提供とお風呂や住む部屋を提供することで、パートに出るくらいの収入が得られるというグループホーム制度が、滋賀県にできた・・・」随分昔、そんな話を驚きを持って聞きました。「親なき後をどうするか？」親御さんたちは悩み続けてきました。就学猶予で学校にも行けず家での生活を余儀なくされた時代に生きて

こられた方にとって、施設入所が希望の星に思えたことは確かです。入所した子供たちにとってはどうか？といった視点など、入り込む余地がないほど追い込まれていたのも事実です。そして入所施設が当たり前になると、そこに「当事者性」や「自立生活運動」という言葉が持ち込まれるようになり、Nothing About Me Without Meという言葉の重要性がうたわれる「今」になりました。



メンバーAさんをお願いされて、トレードマークのひげを剃る

大規模から小規模、小規模から個人、郊外から住み慣れた町へという社会福祉の流れの中で、グループホームの存在が目されました。ただ事業を行うにあたって、知的障害者が4人以上必要から始まり、知的障害者と精神障害者を合わせて4人でもかまわないとか、部屋の広さや防火・安全のための規定など、制度がころころ変わることへの不信感や実態との乖離感から、公的助成なしの生活棟という位置づけを続けてきました。

当初行き場所の無かったメンバーの共同生活をスタートさせた頃は、身体障害、知的障害、精神保健福祉エリア（当時は精神障害者という規定がなかった）のメンバーが混在していました。現在は身体・知的のメンバー2人ですが、少し前は身体・知的・精神のメンバーそれぞれが4人いました。

生活費一式（食費・水光熱費・舎費・石けん・シャンプー・トイレットペーパー洗濯用せっけん等含む）のお金はもらいますが、世話人が食事作りや生活管理をしない代わりに「自分でやれることは自分でやり、一生懸命やってもできないことはやれる人にやってもらうことで全体を成り立たせる」といったコンセプトを軸にしています。「自分で自分の事ができないメンバーだからこそ、公的資金で世話人を置き生活管理をする」ことでグループホームを成り立たせていることとは、対極にあると思われるでしょう。

スパンを短く取れば後者が正論かもしれませんが、長く取ればそうでもありません。私は買い物やお金の管理等をボランティアでやっていますが、他の仕事のついでにやっています。月の宮作業所やリサイクル作業所の食材を買うときに生活棟の食材も購入しますし、作業所の他のメンバーが買物を手伝います。出金等も会の事務局等の仕事と合わせてやっています。

生活棟のみの単独の仕事を作らず、なるべく生活棟のメンバーがやれることは自分でやってもらいます。給湯器の灯油が少なくなってきたから始まり、トイレットペーパーや洗濯石けん、シャンプーやリンス、石けんやタオル、お米やパン・牛乳・ジャム・マーガリン・レトルト食品・冷凍食品などメンバーに管理してもらいます。

「シャンプーが無くなってから買ってきてと言われてもあかんよ！詰め替えのシャンプーがもう一つになったから買ってきてくれとか、お米も少なくなったから精米してくれとか、灯油がポリタンク1本になったから買ってきてくれとか、言ってよ！」

こんな感じで口うるさく5年10年やっていると、それなりになるから不思議です。

「他の人にやってもらったら、今はすべてお金がかかる時代なわけ！財産が沢山あるか、お金をたくさん稼いで他の人にやってもらうのもいいけど、お金が少ないなら、お互いにやれることを『破れ鍋に綴蓋』でやっていくのが、公的資金も使わず、最後は自分の足で立つことにもなると思うけど？」

そんなやり取りを続けています。

「自分の足で、自分一人で立つこと」ではなく「皆と共に、それぞれ自分の足でそれなりに立つことで、全体を成り立たせる」ことが、廻り回って、人間としての尊厳を尊重することに繋がることを、37年間の実践で感じております。

お知らせ

第2回柳澤監督 映画上映会

「夜明け前の子どもたち」

7月25日(日) 藍住町総合文化ホールで「夜明け前の子どもたち」(柳澤壽男監督・1968年120分モノクロ作品)を午前午後の2回上映し、150人(関係者含む延人数)もの方々にご覧頂きました。

「新型コロナ禍で、なおかつ重いテーマのモノクロ映画を、さて何人見てくれるだろうか？ほとんど関係者のみの映画会になっても、地域活動支援センターや障害者地域共同作業所に通うメンバー達が見ることの意味はあるか・・・」

そんな覚悟をしていました。

予想は裏切られ「東京や大阪でも、この映画1本で100人集めるのは大変よ！」そんな言葉を北島町創生ホール元館長さんから頂きました。

これも取材して頂いたU記者、映画や音楽のプロデューサーのKさん、藍住町総合文化ホール館長さんはじめ関係者の皆さん、B-FM3Bの鉛筆のM&H和尚、徳島映画センターFさんをはじめ広報宣伝に関わって下さった皆さんと、足を運んでご覧頂いた皆さんのお陰です。有難うございました。

共同募金助成 16年活躍した印刷機世代交代

太陽と緑の会の事務所で16年使い続けた印刷機(Duplo DP440e)が役目を終え、新たな印刷機(Duplo DP-X520)と世代交代しました。

平成17年2月27日、本館建物1階入口付近より出火した火災により、備品やリユース商品の全てがダメになりました。印刷機も焼失し機関紙の発行が出来なくなりました。ハートランドあつぷるさんの印刷機をお借りしてその場をしのぎましたが、ヤマト福祉財団に応募して助成を受けられることになり、同年7月に印刷機を購入させて頂きました。

それから16年、修理しながら現役を続けましたが、ついに修理部品自体がなくなり、使用の継続が困難になってきていました。

有難いことに、この度、共同募金配分金による助成を頂けることとなり、自己資金(規定により総費用の4分の1以上)を合わせて、新たな印刷機を購入させて頂くことができました。

機関誌は年6回、毎回1200部発行しています。様々なハンディを持ったメンバー達とのリユース・リサイクル活動に協力して下さった皆様や見学・研修に来られた皆様にお渡ししている他、約230部を全国の個人・団体の皆様にも発送し、当会の活動理念の周知や「人も物も活かされる街づくり」活動の推進において、大切な役割を果たしてきました。

またデータ入力やイラスト、帳合・ホッチキス留め・封筒入れなども、地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所メンバーの作業と位置づけ、作業内容の広がりにもつながっています。

「多くの皆様の善意の浄財」である共同募金によって購入させて頂いたこの印刷機を、大切に末永く活用させて頂きたいと思っております。

鮎喰川クリーンアップ

鮎喰川河川敷(中鮎喰橋西詰め近辺)のごみゼロ・クリーンアップは平成13年から始め、今年で21回目となります。

作業所の日常活動は通常通り行いながら、5月9日、23日、30日と3日間に渡り、のべ16名のスタッフと様々なハンディをもったメンバーが清掃活動を行いました。

エンジン付き刈払機2台で総延長2.5kmの草刈りを行い、収集した45L袋6袋の可燃・不燃ごみは、徳島市のご協力を得て適正に処理致しました。

太陽光発電パネル交換

7月7日、14日、21日、28日、8月7日、10日で太陽光発電パネル交換設置工事が完了しました。

15年使った太陽光発電用DC-ACコンバーター(パワコン)が故障したため交換しましたが、新館屋根中央部分の太陽光パネルもほとんどが発電不良と判明し、新しいパネルに交換することとなりました。

2005年2月27日の火災で全焼した建物に設置していた太陽光発電パネルは当然ながらアウト。京セラさんの10年間保証で、新しい建物に無料で再設置。それから15年発電してくれたことを思うと感謝しありません。

松村スレート(有)さんが貰ってくれた軽量瓦(富士スレート製)を剥がしながら、新たな設置金具を取り付ける作業を炎天下で行ってくれた四国機器さん、設置業者さん、ご苦労様でした。

1998年から徳島の太陽で発電した電気を使い続け23年。当時は道楽と言われた太陽光発電ですが、周りを見渡せばあちらこちらにソーラーパネル…です。

差し入れ頂きました

色々お世話になっている石井町のSさんより、沢山ジャガイモを頂きました。メンバーYさんが作る日曜日の定番カレーや、月の宮作業所でメンバーFさんが得意な煮物などに使わせて頂きました。有難うございました。

「水分補給をマメにして熱中症にならないように気をつけてください!」とメッセージが添えられ、沢山のポカリスエットパウダーを関西在住のFさんが送ってくれました。

今から30年前、日本青年奉仕協会の一年間ボランティアとして当会に参加、その後もスタッフとして貢献してくれたFさんです。30年も過ぎればFさんを知るメンバーも少なくなり、メンバー最長老のNさん含めて3人となりました。有難うございました。

当会の活動を会員として、長年ご支援下さっているHさんご夫妻から、今年も手作りのブルーベリージャムを頂きました。ご主人が栽培されているブルーベリーを、朝摘んでジャムにされているとのこと。手間暇かけて作られた貴重なものを、本当に有難うございました。

「フードロスをなくすために、まだ食べられる不要な食材を集めてきました!」と、いつも差し入れを頂く竹條さんが、浄土真宗のお寺(尊光寺等)の皆さんからの食料品・調味料などを持って来て下さいました。

1人暮らしをしているAさんBさんCさんDさんや、ここの作業を終え、夕食用のお弁当をスーパーで妹さんの分まで買って帰るEさんなどにも、自分で作れそうなものはおすそ分けさせて頂きました。自分で自分の食事を作れることの価値を改めて再認識します。

コンビニや弁当屋さんが近くにありお金もそれなりにある環境から外れると、1人で生活できるハードルがグッと高くなります。毎日の味噌汁づくり、日曜日のカレー作りなど、やれることが一つでも増える意味がそこにあります。

「こんなふうに、もらえるのが当たり前ではないからね・・・!」と相変わらず念押しです。有難う御座いました。

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2021年4月13日～2021年8月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

坂東、中村、生田、匿名、平田、櫛田、佐藤、西谷、米田、山田
(郵便振替口座)匿名、辻、松尾、荻野、匿名

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○三浦、榊原、窪田、玉谷、梶本、伏谷、村端、佐野、野原、梯、田岡、奥原、山内、川田、大利
木材(有)、服部、梅津、脇田、高橋、村上、梅田、向井、吉田、ヨウチ、平佐、川野、松原、渋谷、高木、
佐淵、武田、山内、松下、岡田、高原、石川、小山、大木、合田、四方、佐藤、板東、多田、花岡、安田、
ますだ、小濱、八十川、島、原、尾池、廣田、オカダ、山下、杉浦、阿部、滝川、松本、鎌田、中窪、笠井、
福永、藤本、楠本、竹中、三好、照本、後藤、小濱、井上、武市、竹内、岩崎、濱野、生田、田川、マスハ
ラ、日浦、中村、島、山下、榎本、田和、東山、フナイ、漆原、松浦、上田、鶴、美濃、杉浦、久次米、津
田、香川、野口、中川、原田、宮崎、高石、森本、笹田、岡本、三木、麻植、鈴木、姫野、勝、今井、山本、
北條、喜多、森野、為田、団、武岡、尾崎、福家、松村、窪北、岩崎、小倉、スミタニ、荒木、小崎、狭間、
西岡、桜井、富樫、藤黒、石川、高瀬、大松、神崎、大上、北浦、中山、河野、嶋津、位田、杉本、下村、
湯浅、平尾、八十川、東山、イハラ、吉川、山口、東條、小林、竹岡、磨淵、都、城本、熊本、坂尾、山田、
佐藤、林、白木、津田、加本、小倉、久田、元木、岩山、伊藤、下条、小崎、小川、楠、石川、太田、庄野、
ラエ、小寺、高橋、宮城、滝口、加藤、市原、西出、寿、宮本、野村、伊丹、窪川、立石、武田、佐藤、佐々
木、谷口、高瀬、川人、若宮、岡、戸田、中安、加納、福永、大田、笠井、大地、鈴江、東條、多田、森、
佐野、新居、山本、田中、寺岡、岩崎、齊藤、濱、岡村、大島、徳島友の会、谷山、くわはら、三浦、加本、
藤岡、川島、大井、柳川、嵯峨、豊栖、内藤、大津、林、三瀬、村本、大津、大畠、池北、西村、宮本、オ
キツ、高橋、吉川、戸田、長尾、吉田、安好、伊藤、児玉、渡辺、大磯、板東、榎本、萩原、押栗、百々、
森本、荒川、近藤、井上、ひめの、ホットハウス 松本、津村、富谷、吉岡、中村、楠、坂東、中川、木下、
岡、岩山、久米川、地域活動支援センターやまもも、齊藤、富永、五宝、中安、向井、川野、石田、前田、
原田、ツジ、原、藤原、徳永、山城、長岡、ワクイ、清水、竹村、田村、松田、長尾、井原、齊藤、鎌田、
藤本、徳島市市民協働課、えもと、藤田、祖父江、吉田、岩井、篠原、原口、ニタンダ、溝杭、井阪、大井、
中野、桑原、東條、渡辺、鈴木、吉岡、山田、長江、藤江、大塚、荒川、梅岡、月岡、福田、紋田、大西、
竹内、谷本、大本、榎野、幸平、森、榊原、貝出、坂東、津田、島田、橋、中尾、喜多、武井、原、岩見、
高原、長田、城浦、杉本、岸、原田、珠田、まえどう、佃、鈴江、西本、江口、浜辺、福井、伝住、山橋、
日下、堀、郡、梶本、真木野、木崎、佐々木、森田、黒嶋、楠、中津、布袋、大坂、フクイ、工藤、河崎、
川浦、渡辺、隅田、萩原、中川、舟越、境、西原、久米川、平岡、山崎、野間、高原、瀬戸、西島、岩崎、
中野、榎野、工藤、藤永、白鳥、新居、近藤、古本、早雲、浜田、下内、鈴木、小西、吉岡、いわき、桑原、
加藤、照本、秋田、山本、宮本、藤岡、北井、高輪、徳永、神下、津田、大森、小路、大野、藤里、田和、
篠川、織田、中園、荒木、ウチダ、佐々木、増田、位田、原、杉本、中瀬、川浦、加宮、川崎、和泉、香川、
榎本、八木、ムラヤマ、蒲原、岡、岩崎、河西、西田、南、元木、吉本、大隅、平野、木下、金本、藤原、
遠藤、郡、丸山、中山、クレール原田、清水、宮本、田野、篠原、宮城、中安、柳澤、森、花岡、原、四
方、中村、長江、大森、佐々木、松下、堀江、竹林、井筒、前田、川上、福田、中西、林、濱口、加藤、久
米川、エトナ、西田、宇野、原田、田丸、麻植、武市、ウィークス、藤井、松田、さとう、鈴江、川人、三
宅、松原、妙見、榎山、南無南無堂、河上、土井、神下、内藤、大井、山崎、植木、鈴木、川崎、村上、日
下、須見、鍛谷、川原、奥谷、岩城、日野、柴田、ムラヤマ、板東、大出、徳永、永田、加本、矢本、竹林、
菅沼、中分、田原、住友、新居、小倉、平岡、東山、横尾、近藤、谷村、カキモト、梅原、西村、児玉、島
田、木村、織田、吉富、楠瀬、泊、小林、鈴木、黒田、大上、土岐、井内、鈴木、松野、ヒメノ、横野、月
岡、藤坂、池田、石川、米田、福元○石井町○佐藤、兼子、吉本、中山、松岡、山西、植田、竹内、近藤、
浅井、原田、田中、林、高橋、桑原、ヒラタ、梶野、唐川、中原、大橋、桜井、筒井、中東、松浦、井上、
森野、アキヤマ、新見、木全、長船、浦松、佐野、杉原、矢間、御堂、尾崎、加藤、眞鍋、遠藤、小西、坂
東、桑原、中川、松岡、児島、中野、西川、宮浦、島田、太田、村本、桑原○小松島市○白中、徳政、桑原、
山下、植木、矢野、盛、山本、浜崎、湯浅、芝原、杉野○藍住町○佐野、濱、三好、山本、山田、藤田、松
島、山根、中野、犬伏、柳澤、岡本、佐川、高田、山橋、高輪、新谷、香川、近藤、中川、大下、鹿児島、
別所、宮本、浅川、大和、熊本、石本、高畠、小浜、藤本、高橋、ワキサカ、土井、山本、井上、熊本、大
江、寒川、佐藤、ハヤシ、中野、加納、片山、井出○鳴門市○内田、高橋、福山、渡辺、森、田中、板東、
辻、稲木、中西、宮本、板東、浜田、ナカツ、山本、鈴江、嵐、喜來、武田、喜来、後藤、正木、吉村○海
陽町○笹山、神沢○阿波市○大村、野原、中西、森長、和田、武田、新谷、岡田、武市、有吉、石田、森、

香川○吉野川市○河野、阿部、岡本、斉藤、小牧、金城、近藤、奥田、上岡、那須、森、杉野、石田、江川、
 広畑自治会、工藤、谷、後藤、向井、上原、国友、ナカニシ、小川○板野町○三木、中野、上田、高橋、吉
 岡、長尾、林、藤井、乾○北島町○エラワティ、宮地、堤、井上、田根、佐藤、成長、秋野、池形、小出、
 杉野、中塚○松茂町○坂東、岩本、横関、濱田、朝井、佐藤○美馬市○辰巳、高木、吉田○上板町○稲井、
 安永、美馬、廣澤、吉田、先規、松岡○勝浦町○上野○神山町○栗津、河野、上田、中原、藤岡、河野、向
 井、藤本、手島○美波町○ポデズワ、中川○阿南市○橋本、庄野、原、平尾、美濃、森本、吉積、森本○那
 賀町○神崎○つるぎ町○萩○三好市○森○大阪府○中邑、藤田、永口、吉岡○福岡県○永峰○東京都○小林、
 三木○愛知県○松浦○奈良県○平田○京都府○木村、井上○香川県○松村○埼玉県○本田

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○後藤、森田、溝杭、久次米、生田、四宮、中元、村上、斉藤、四国大学学生ボランティア支援セ
 ンター、谷沢、福田、中島、東條、青木、吉本、楠本、林田、イリムラティ、平石、工藤、上野、和田、井
 上、出口、月岡、松本、梶本、宮迫、トリート北野、太田、美馬、八木、伊東、ピンク美容室、梶村、前山、
 中島、こうの、キタ、幸田、末広、井上、庄野、楠藤、福田、栗飯原、山本、まんが家、三木、豊田、井内、
 多賀石、小倉、久米川歯科、佐藤、ムカイ、岡本、宇治製菓、大北、岡、木下、横山、住友、吉野、漆原、
 福永、濱田、天羽、細川、竹内、佐川、内田、杉本、田中、梶浦、宮本、長野、川野、森、大櫛内科、宮越、
 ホットハウス松本、庄野、白井、高木、林、久龍、長岡、元木、久米、伊川、中川、湯浅、清水、みづほ保
 育園、矢部、岡田、吉田、海部、加美、鴻野、桑井、宗田、小林、阿部、武市、和泉、竹岡、前川、野中、
 住友、赤沢、白井、田村、森本、美根、長江、石川、中山、北畑、畑田、川人、沢田、近藤、村上、山野、
 黒田、鎌田、小野、勇、多智花、小川、中田、谷、仁義、久米川歯科、穴吹ハウジング(北川)、増田、土肥、
 滝本、県営住宅PFI管理センター、東部県土整備局、小林、池田、藤田、藤しょう、嵯峨山、ファミリー
 マート幸田店、中尾、宮井、サンルートホテル原、川崎、谷、仁和、水田、糸林、岡村、松田、コヤマ接骨
 院、荒木、宮西、木川、平田大木、笹川、谷沢、元木、岩川櫛内科、横山、佐藤、横谷、中山、松浦、印藤、
 桑村、林、藤本、中村、井口、岩本、曾川、近藤、坂東、吉村、松田、月岡、木村、坂川、山岡、前田、山
 岡、岡本、ヨウチ、安芸、木村、森、藤田、井利、中野、岩見、笠井、八ノ保育園、斎藤、矢部、鈴江、伊
 川、林、真鍋、桑村、広瀬、大北、丸山、円藤、豊田、糸林、福島、大久保、藤永、矢本、本田、石田、三
 宅、出水、奥谷、岩川、松原、浅尾、大滝、米田、山本、清水、佛豊栄建設、西谷、枝川、楠根、林、山本、
 大谷、三好、広瀬、安永、金子、糸林、吉川、山田、山岡清掃、東條、柳澤、ながの、濱口、松岡、中井、
 加戸、ますだ、中村、濱田、高橋、宮越、眞家、オキ、中石、前坂、渡邊、島、西村、出口○松茂町○宮迫、
 佐々木、井川、古川○石井町○三木、谷、佐野、高橋、筒井、中本、長篠、吉本、中川○吉野川市○後藤、
 坂野、長谷川、住友、片岡、尾越、小川、木元○小松島市○宮本、細谷、木下、長岡、伊賀、東山、湯浅、
 正部、立石、長尾、田中、木下歯科、阪本、鎌田○鳴門市○川村、坂、小島、新田、株田、久龍、沖野、米
 田○藍住町○畑、花木、岡、木下、かい谷、阿部、石川、東、太田、成田○北島町○佐藤、佐川、そごう、
 宮崎、杉野○板野町○郡、井上、小林、藤澤、藤井○上板町○川田

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられます。頂いた品物は大切に活用させて頂きます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

また、お野菜、果物、食材、お菓子、飲み物等を差し入れて下さった皆様も本当に有難うございました。

※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」と記入して頂ければ幸いです。



鮎喰川クリーンアップ
刈払い機による草刈りで姿を現したペットボトル、空き缶などを拾っていきます

編集後記～働かざる者食うべからず

先日、生活保護受給者やホームレスの人に対するある方のインターネット動画 (Youtube) での発言が問題になり、この発言に対して批判、非難、抗議の声が多数寄せられる、ということがありました。

発言の内容は侮辱的で品位を欠いたものだと思いますが、特定の個人を攻撃したものではありません。インターネット上の SNS や掲示板では、匿名による差別的なコメントが至る所で公開され、個人を特定可能な情報を晒したり、個人を誹謗中傷するコメントを書いたりして、その人の社会生活を破壊したり、自殺に追い込んでしまう悪質なケースも存在します。

この方の発言の問題は、発言内容の差別性もさることながら、8万人近い会員を有する独自の動画配信サービスを持ち、多数の書籍を出版し、244万人が Youtube でチャンネル登録している、という影響力を行使して、差別的な内容の発信を行ったことにあるのだと思います。その発信を受け取った方がどのように感じ、行動されるのか、そこが危惧されるところです。

新約聖書の『テサロニケの信徒への手紙二』3章10節に「働こうとしない者は、食べることもしてはならない」という一節があります。「働こうとしない者」とは、「働く意志をもたず、働くことを拒み、それを日常の態度としている」者のことであり、病気や障害によって働きたくても働けない人や非自発的の失業者は含まないと解されています。

「働かざるもの食うべからず」というレーニンの言葉は、元々は不労所得を得ている資本家たちに向けられたもので、その後制定されたソ連の憲法では、労働は「市民の義務」と記され、社会主義諸国の憲法にも大きな影響を与えました。

日本国憲法でも、国民は勤労の義務を負う、と明記されています。

「真面目に勉強しないと、ホームレスになってしまうぞ」と先生が生徒を叱咤激励したり、定職につかない人を「この穀潰し」と罵ったりする光景が見られたのは、それほど昔のことではありません。

子供の頃から見聞きした大人の言動や価値観は気付かぬうちに私たちの心と体にしみ込んでいます。

「生活保護受給者やホームレスの人は働こうとしない怠惰な人だ」

「生活保護を受給したり、ホームレスになったりするのには、努力が足りないからだ」と考える方もおられるでしょう。

日本は他の先進国に比べて生活保護の捕捉率が低く、生活保護水準以下の所得でギリギリの生活をしている方が少なくない理由のひとつには、「生活保護を受給する」ということに対する否定的な価値観が社会に存在するからだと思います。

生活保護が十分にその役割を果たしていないため、「収容を断らない」「水際作戦もない」刑務所が最後のセーフティネットとして社会的に行き場のない方の受け皿となっていることは周知の事実です (新規受刑者の2割弱は知的障がい(知能指数70未満)を持つ方で、知能指数70~80未満の方も含めると約42%になります)。

20～50代の1人暮らしの方が生活保護で頂けるお金は年間120万円くらい(徳島市の場合・医療扶助を除く)ですが、受刑者1人当たりの刑務所等運営コストはその2.5倍くらいです。

裕福な家庭に生まれ、働かずに毎日豪遊しても、「働こうとしないから」という理由で叩かれることは少ないでしょう。働かなくても生きていける境遇を、妬んだり羨んだりする人はいるかもしれませんが…。

つまり、問題とされているのは「働こうとしないこと」ではなく「働こうとせずに他人様の世話になる、迷惑をかける」ということであり、「勤労の義務を全うしない人を助ける必要はない」と考え、「役に立たない迷惑な存在」と見下していく思想につながっていくのだと思います。

「役に立つか、立たないか」という物差しで、人も物も選別していく。「役に立たない物」をゴミの収集日に捨てるように、「役に立たない人はいない」と捨てる。「使えねえ奴」「クソキャラ」といった言葉の裏側にも、同じ思想が重なって見えてきます。

問題となったYoutubeでの発言に対し、公の場で実名で賛同の意を表明する方は稀かもしれませんが、密かに賛同されている方は少なからずおられると思います。

お国のために命を捨てることが美德で、拒めば非国民と罵られた時代から80年、コロナ禍で強調された「命を守る」という思想の歴史の短さを改めて思います。

情報発信の手段がテレビ、ラジオ、新聞、書籍くらいしかなかった時代とは異なり、インターネットの普及によって個人による情報発信のハードルは著しく下がりました。例の発言をされた方自身は少なくとも年間数億円以上を稼ぎ多額の納税もされているそうで、生活保護受給者やホームレスの人に対して思うところもあるのでしょう。いかに差別的な考えを持とうと、それはその人の自由です。

ただ、その差別的な考えを社会の公の場で表明することを、どこまで許してよいのか。私たち一人一人が考えていく課題なのかもしれません。(文責・小山)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く豊かであることを願っております。

発行:NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-642-1054

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田

宛名シール添付担当メンバー 堀

製本・発送作業担当メンバー 岡田 福住

年会費：正会員1万円(総会議決権)

準会員1,000円(機関誌発送のみ)

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名：特定非営利活動法人太陽と緑の会